

1 学校経営方針

笛吹市南東部、標高810mの山間に位置する本校は、県内でも極めて規模が小さい学校です。この地理的、地形的、自然的、文化的な環境は本校の最大の強みでもあります。本校は地域との結びつきが強く、まさに「地域の学校」と言えます。これまでも、家庭・地域と学校とが連携し、地域の自然や文化に根差した人的・物的資源を有効に活用した「価値ある本物の体験と学校教育活動の融合」に取り組んできました。

地域の温かい支えのもと、こうした教育活動によって少ない人数ではありますが、お互いに協力し合い助け合いながら、異学年合同授業や全校活動を通して、児童がお互いを理解し合い協働しながら主体的かつ深い学びを実現する基盤を培うとともに、児童の心身ともに豊かな成長を促しながら学校教育目標の実現を目指してきました。

本年度は12名の児童と教職員とで、大自然に囲まれ、地域に温かく支えられた素晴らしい教育環境の中で、これまでの「芦川教育」の流れを大切にしながら、更なる進展を図り全校児童を慈しみ育みます。

- (1) 芦川の自然・歴史・文化・伝統を踏まえ、小規模校の良さを活かし、地域に根ざした学校経営・運営の推進と開かれた学校づくりに努めます。
- (2) 地域の特色を活かした教育課程の編成と実施、地域の教育力の活用を進めるとともに、『全教職員が全校児童の担任』という共通理解をもって、個に応じた指導や複式学級、インクルーシブ教育の活動を展開します。
- (3) 学習指導要領の具現化と学校の実態に応じた教育課程の実現を図り、学級経営、教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、外国語活動の充実と相互の関連を工夫し、「生きてはたらく力」を育成します。
- (4) 基本的な生活習慣が身につく、他者を思いやり、互いの立場に立って考えることができる、豊かな心の育成に努めます。
- (5) 日々の生活や体育科、学校行事等を通して、自らを律し心身の健康増進と体力向上に励む児童の育成を図るとともに、教職員が率先して自身の健康増進に努めます。
- (6) 児童相互及び児童と教職員とのよりよい人間関係を築き、愛情と信頼に基づく児童理解と指導に努め、児童一人一人の自己実現と楽しい学校づくりを推進します。
- (7) 互いに支え合い高め合う教育研究を充実させ、ICTの活用を含め楽しくわかる授業づくりを推進し、学力向上を図ります。
- (8) 安全、安心を基盤とし、児童が生き生きと活動できるような、潤いのある教育環境の充実に努めます。
- (9) 信頼される学校づくりをめざし、家庭・地域と学校との連携を深めます。

2 学校教育目標

**自ら考え 自ら学び 豊かな心もち
力を合わせて たくましく生きる 児童の育成**

《めざす子ども像》

- 深く考え、真理を求める子ども
- 豊かな心情をもち、礼儀正しい子ども
- 協働して、ものごとをやりぬく子ども
- 心身ともに健康で、明朗な子ども

《めざす学校像：信頼される学校》

- 楽しい学校
- 美しい学校
- 活力ある学校
- 開かれた学校

3 本年度の努力点

(1) 「生きてはたらく力」を育む学習指導の充実

- ①基礎・基本の確実な定着と個に応じた学習指導やICTの活用に努め、「分かる授業、楽しい授業」を日々実践し、学力の向上と個性の伸長を図ります。
- ②興味・関心を喚起し、学びの方法を身につけ、進んで課題解決に取り組む主体的な学びの場をつくります。
- ③価値ある体験活動と言語活動を結びつけ、自分の思いを自分の言葉で最後まで表現し、対話できる力を育てます。
- ④少人数による学級、複式による学級、インクルーシブ教育に適した教育課程の運用（児童理解、指導計画や指導方法等の工夫）を図ります。
- ⑤児童の学習の状況を把握するとともに分析を行い、学習指導に活用することで指導と評価の一体化を図ります。

(2) 豊かな心を育み、体力向上と健康維持を図る教育の充実

- ①思いやりのある言葉遣い、相手を敬う聴き方の指導を重ねます。
- ②道徳教育の充実を図ります。
- ③読書活動の充実を図ります。
- ④行事・体験学習の充実を図ります。
- ⑤体育・スポーツ活動の充実を図り、体力向上に向け継続的な取組を進めます。
- ⑥健康3原則の徹底と望ましい生活習慣の確立を図ります。

(3) きめ細やかな児童理解と生徒指導の推進

- ①生活規律・学習規律の定着を図ります。（返事、「あいさつ・聞き方・言葉遣い」）
- ②少ない人数に応じた相互理解と望ましい集団活動を工夫します。
- ③児童一人一人の実態を正確に把握し、個に応じた指導と共感的理解に努めます。
- ④全教職員の共通理解のもと、全校児童の指導にあたります。

(4) 教育研修の推進と教職員としての資質・指導力の向上

- ①校内研究を基盤とする校内研修の充実と活性化を図ります。
- ②少人数学級や複式学級の効果的な指導法について学習を深めます。
- ③各種研修・自主研修に積極的に取り組み、資質の向上、指導力の向上に努めます。
- ④教職員間のコミュニケーションを大切にし、支え合い磨き合う仲間づくりを進めます。

(5) 教育環境の整備と充実

- ①清掃・美化活動の徹底を図ります。
- ②豊かな感性を育てる環境づくりを進めます。
- ③環境にやさしい学校づくりを進めます。
- ④学校事故等に対し即時に適切な対応ができるよう、「防災・安全計画」「危機管理マニュアル」の見直し、改善を進めます。

(6) 地域に根ざした学校づくりの推進

- ①地域の教育力の積極的な活用に努めます。
- ②家庭と連携した学習・生活習慣の確立を進めます。
- ③八代小・境川小・浅川中との連携強化を図ります。
- ④学校教育情報の家庭・地域への発信に努め、保護者や地域住民との情報交換を密にします。
- ⑤学校評価の充実と、評価の活用による学校改善を進めます。
- ⑥各関係機関との連携に努めます。